

第四回ステークホルダー会議 ダイジェスト版

2006/12/02 なごや循環型社会・しみる提案会議 実行委員会 事務局

日 時： 平成 18 年 12 月 2 日（土） 13 時半～17 時 45 分

会 場：名古屋キリスト教女子青年会（名古屋 YWCA）2 階 多目的ビックスペース

参加者：ステークホルダー 20 名（4 名欠席）

第四回会議では、前回の班別討議で議論した重要な論点を全体で確認し、さらに全体会議で追加的な検討をすることで議論を深め、専門家に対してシナリオ作成のための指示文書を示すために、討議内容を取りまとめました。



写真：全体での意見交換

会議の初めに、前回の班別討議を受けて事務局が 8 つテーマそれぞれの討議内容をまとめたものを説明し、全員で共有しました。

<8 つのテーマ>

①不要物の削減・ごみ削減	⑥費用負担・ごみ有料化
②生ゴミの対策	⑦意思決定、取組みの場、役割分担
③リサイクルの方向性	⑧教育・人材育成/⑩価値観・ライフスタイル
④焼却の方向性・⑤埋立の方向性	⑨情報・コミュニケーション

次に、ステークホルダー全員で 8 つのテーマについて討議し、班別討議で議論が十分でなかった点などを補足しました。その後、全員での討議を通して、各ステークホルダーが 8 つのテーマの内、どのテーマをより重要と考えているか、8 つのテーマに対して一人 10 点の票を思うように配分する重み付け投票をしました（結果については後日公表）。この投票結果は、専門家がシナリオ案を作成する際の参考情報となります。

最後に、全体討議の結果を事務局が箇条書きにまとめ、専門家に対してシナリオ案作成のための指示文書の案を、ステークホルダー全員で議論しました。

時間の都合で、討議で指示文書の大枠を決めた後は実行委員会が指示文書案を作成して後日郵送し、さらにステークホルダーから意見をいただいて、内容を決定するというになりました。

次回の会議では、専門家がシナリオ作成の考え方・手順について説明し、専門家のシナリオ作成の方向性と作業が指示文書を反映したのものになっているかを確認します。